

令和4年度 潮来市総合教育会議 議事録

1. 日時 令和4年11月24日（木）午前9時00分から午前10時10分

2. 場所 潮来市役所3階 第一会議室

3. 出席者

議長
委員

市長
教育長
教育長職務代理者
教育委員
教育委員
教育委員
教育部局
教育部長
学校教育課 課長
学校教育指導室長
生涯学習課 課長
学校教育課 課長補佐
学校給食センター長
学校教育課 係長
学校教育課 係長
事務局
市長公室長
企画調整課 課長
企画調整課 課長補佐
企画調整課 係長
企画調整課 主幹
企画調整課 主事補

原 浩道
横田 直樹
小松崎 修平
茂木 悦男
飯田 三矢子
塚本 健二郎
塙 誠一
村田 慎一郎
五喜田 満
吉川 増夫
大川 敏幸
大塚 浩行
泉 昭彦
森内 利典
額賀 浩
草野 吉広
酒井 進
塙 陽介
小杉 翼
門岡 美樹

傍聴者

なし

4. 会議次第

- ・開 会
- ・あいさつ
- ・協議事項

（1）いじめ防止に向けた取り組みについて

（2）これからの教育行政施策について

- ・閉 会

5. 会議録（要点記述）

【 協議事項 1 いじめ防止に向けた取組みについて 】

《説明》

（教育委員会）

「いじめ」の定義については、「弱いものに対して」「一方的に」「継続的に」等という考え方から、児童生徒が何らかの苦痛を感じれば、深刻ではなく、たとえ1回だけでも、いじめとして認識するという考え方変わった。そのため、学校では、ささいなことでも見逃さないようにすることが求められる。

また、いじめ防止に向けた取組みとして、以下のようなことを行っている。

学校の取組み

未然防止：人権教育・いじめ防止集会、情報モラル講演会、道徳教育 等

早期発見：日頃の観察、アンケート、教育相談、学校外の窓口の周知 等

対 応：校内いじめ対策組織による認知、組織による対応、解消までの観察 等

市教育委員会の取組み

校長研修会・教頭研修会・教務主任研修会での指導

毎月はいじめ問題に関する児童生徒の実態報告を受けた助言・指導

各校の校内いじめ組織への指導主事参加による指導

《意見交換》

（教育委員）

いじめ防止に向けた取組みとして、地域の方たちの協力も必要だと思う。

また、「いじめを受けた側」だけでなく、「いじめた側」への対応も課題である。

（教育委員）

いじめに対する先生の対応について、相談しても重大なこととして受け止めてくれなかったりしたことがある。先生だけの責任ではないと思うが、さらなる意識の徹底が必要だと思う。

（教育委員）

法律が改正され、継続的・身体的なものでなくてもいじめと認識し対応するという考え方に変わった。改めて、先生の意識の徹底や研修等を進めていくべきだと思う。

一方、それによって先生の仕事が増えてしまうことも考えられる。先生が子どもたちの様子をしっかり見ることができるように、教職員数を増やすことも必要である。

(教育委員)

今の先生たちは、すごく忙しくて余裕を持って子どもたちを見る時間が作れなくなっていると感じる。子どもたちと関わる時間をより作れるようにしていただきたい。

(市長)

教育というのは、公平・平等に受けられることが大事だと考える。しかし、財政的に手厚くできる地域と、なかなか難しい地域とで、市町村間の格差が生まれてしまっている。

人材を増やしたいと考えたときに、市町村としてもそれに応える努力はするが、市町村だけですべてできるわけではない。ここまでは市町村で行い、それ以上は県、また、それ以上は国でというように、国・県・市の役割を明確にしてほしいと思う。

国や県においては、どういう人材を、どういったバランスで配置していくのか等、まず、教育のあるべき姿を示していただき、そのうえで各市町村が公平に予算をつけていくというやり方をしないと、例えば、隣の市でやっていないことを率先してやるということも難しくなる。

どこの市町村も人材を手厚くしたいと思っているが、なかなか難しい現状もある。そのような中でも、できるだけ格差のないようにするために必要なことはやっていきたいと思うので、ご理解をいただきたい。

【 協議事項2 これからの教育行政施策について 】

《説明》

(教育長)

いじめの問題については、引き続き、いじめ防止の取り組みを進めていきたい。

「児童生徒の減少」についても、大きな課題となっている。潮来小・津知小の統合については、令和8年を目安とし、市民の皆さまのご意見を十分にお聞きしながら、現在検討を進めているところである。

また、生涯学習の取り組みについて、皆さまからの要望をできるだけ実施していきたいと思うが、多くの要望をいただいているため、整理をしながら進めていきたい。

《意見交換》

(教育委員)

子どもの人数が減ると教職員の数も減ってしまうが、子どもたちにとって本当に必要な教職員の数ということも考えるべきだと思う。

潮来市は、給食費の無償化等、他の自治体に先んじて、先進的な取り組みをしてきたと感じているので、ぜひ今後も取り組んでいていただきたい。

(市長)

教育予算については、茨城県市長会等からも国に要望を出したりしているが、市町村がやりたいことを示すだけではなく、国の方の考え方を変えていただき、きちんと予算を確保していただく必要があると思う。

教育の質の問題や人の数の問題等も、現場の声をきちんと聞いたうえで手厚くしていくことが教育の方針として大事だと考える。

問題提起をしていくということも我々の仕事だと思うので、それによって少しでも改善を図っていくことができればとも考えている。

(教育委員)

学校や地域の実情とか、先生方の要望等を吸い上げていただき、それに対して施策を実施していただきたい。

P D C Aサイクルの考えで、施策を計画し実施したあとは、検証を行い、そして改善をしながら次につなげていくような仕組みができれば良いと思う。

小さい市町村でも、小さいなりに、きめ細かく学校の意見を聞いて実施できることがあるのではないかと感じる。

(教育長)

教育予算の活用の仕方については、年度当初に各学校の状況について確認する中で、重点化したいという部分については、できるだけ実施できるよう進めていきたい。

また、施設の修繕等については、長期的な視点で、順番に進めていければと思っている。

(市長)

学校運営の中で支障がないように、優先順位をつけながら進めていきたい。

また、老朽化した施設については、学校適正化計画等を鑑みながら、柔軟に対応していきたいと考えている。

(教育委員)

担任の先生を補助する「アシスタントティーチャー」が配置されていた市町村もあるが、どこまでの業務を任せるか等、このような制度の活用にあたっては、それぞれの学校の実情にあった運用がなされる必要があると思う。

(教育委員)

牛堀中学校の駅伝チームが関東大会への出場を決めたという報道があったが、そのような子どもたちの活躍について、潮来市としても、より脚光をあびるような形で取り上げていただければ、より応援できると思う。

【 その他 】

《意見交換》

（教育委員）

学校の統合について、潮来小と津知小の統合について見ても、今まであった学校をなくしてしまうというのは、その地域の方の心情等からも難しいことだと感じるが、生徒数等を考えると、例えば、中学校は市内に1校だけでも良いのではないかと思う。

子どもたちにとって、人間関係等の面からもクラスは複数あった方が良いと思うので、検討してほしい。

（市長）

潮来市の学校適正化計画でも、中学校については、潮来市全体で1校にすることを目指すと計画されている。

潮来小と津知小の統合についても、計画を策定した段階では、令和4年度に統合するという計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、統合に向けての話し合い等もなかなか実施できなかった。

また、まだ統合したくないという意見もあったため、統合の時期について再度コンセンサスを取ろうと、潮来と津知のPTAの方や地域住民の方々等にご意見を聞く場を設けさせていただき、令和8年4月を目安に1つにしようという方針が決まった。現在はそれに向かって進めているところである。

中学校については、具体的にいつまでにとは決定されていないが、平行して検討していきたいと思う。